

企業名：沖縄電力

レポート名：おきでんグループ統合報告書 2022

### 1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

統合報告書を読んで、まず現在この会社は資源価格の高騰や円安の進行に苦しんでおり、電力の安定供給と安全最優先を大前提に顧客へのニーズに応えるということを優先しながら収支改善に取り組んでいることがわかった。そして、社長のメッセージからこの会社は 2050 年カーボンニュートラル実現に向けて「おきでんグループ中期経営計画 2025」を策定し、将来的には CO2 排出ネットゼロを達成して地球温暖化に配慮しつつ総合エネルギー事業者としてエネルギーを安定的に供給することでステークホルダーとの信頼関係をより強固に築いている会社という姿を目指していると理解できた。

### 2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

競争優位性としては、2050CO2 排出ネットゼロに向けた取り組みロードマップが明確かつかなり具体的に描かれており、尚且つそれを達成するための施策、例えば再生可能エネルギー100%供給を達成するための設備の開発や、火力発電において CO2 排出を削減していくために LNG の消費を拡大していくなどが行われていることが挙げられる。

また、事業を通して培ってきた技術やノウハウを活かして開発途上国などにおける電気事業への技術支援や国際協力を積極的に行っていることも強みであると思った。なぜならこのような事業を行っておくことで、後々グローバル展開をするとなった時に他社よりも有利に展開を進められると思ったからだ。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

上記の競争優位性には持続性があると理解できる。なぜなら、まず近い将来において CO2 削減に協力的であり、かつそれを実現するための計画や設備を有しているという事実が今よりもさらに強みになってくると思ったからだ。これは、これから地球温暖化に対する対策やそれに伴った規制がさらに厳しくなるであろうことが予想されることから考えられる。

また、グローバル的に協力しているという事実は後のグローバル展開の際に有利に働くと述べたが、やはり日本の、さらに沖縄という地域に絞られると市場としては狭いために、その市場を世界に広げられる可能性があるということは相当な持続的な競争優位性を持っていると考えられる。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

これに関しては、経営の基本的方向性の一つとして、「人を育み、人を大切にする」という

指針が挙げられていたことから、この会社に身を置くことで自分自身の人的資本を蓄積することができ、その価値を高めていくことができるのではないかと思った。

#### **5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか**

統合報告書を読んでよかったと思う点は、沖縄電力の目指す将来の姿が明確に記されていたために、立てている経営方針がどのような意図で作られたものなのかを認識しやすかったところだ。それに対して、改善する余地があると思った点は沖縄電力の魅力や強みがたくさんあることは伝わってくるのだが、紹介されている魅力や強みが多すぎるために私学生の立場からするとどれが特に誇っている強みや魅力なのかがわからなかったため、それをもう少しわかりやすく強調するという部分で改善の余地があるのではないかと思った。